

第13回 関西クィア映画祭 2019



秋に
開催予定

性に当たり前なんてないよ

国内作品コンペティション 開催!!

クィア・ジェンダー・セクシュアリティ・フェミニズムを扱った作品、LGBT・性的少数者などを扱った作品、性にかかわる暮らしや生き方をテーマにした日本の作品もしくは、日本と深い関係を有する作品を募集します。

コンペ作品 募集!!

最優秀観客賞
賞金3万円

応募締切
2019年
4月末日まで

チラシ裏に
詳細を記載しています。

性に当たり前なんてないよ

あなたはどんな性別で暮らしていますか？

恋愛やセックスは好きですか？どんな恋愛やセックス、人との関わり方をしていますか？

「男らしさ」や「女らしさ」が期待されることに、しんどくなった経験はありませんか？

こういった「男女という制度」の枠組みから出て、自分らしい性を生きている人たちが、既に沢山います。

典型的であってもなくてもいい、変(=クィア)でもいい、性のあり方は多様だ、私たちは生きていける。

関西クィア映画祭は、そんなメッセージがあふれる映画を上映する「みんなのお祭り」です。

ところで「クィア」って何ですか？

英語で「奇妙な/変な」という意味で、性的にフツーでないとされる人への蔑称だった「クィア」。LGBTという言葉がフツーになった今だからこそ、私たちは敢えてこの言葉を使います。それは、LGBTにとどまらず、様々な性や生を肯定したいから。「男女という制度」という枠組みの代わりに「LGBT」という枠組みを作って、安心してほしくないから。規範に頼らずに一人一人が自分の性や生を選び決めていける、という希望があるから。フェミニズムが当たり前の世の中をつくりたいから。民族差別、障害者差別、セクスイーター差別、貧困など、私たちの身の周りにある差別と権力の構造に 向き合って変えていきたいから。「共に生きる」ことは、難しくもあり、豊かなものでもある、と知っているから。